

神奈川トヨタ自動車株式会社

神奈川トヨタ

シンポー情報システム株式会社

神奈川トヨタ自動車株式会社

所在地：神奈川県横浜市

主な事業：

神奈川県内におけるトヨタ新車、レクサス、VW車、中古車の販売／自動車の整備及びカー用品の販売／損害・生命保険の代理店業務／携帯電話販売、チューニングパーツ開発販売／自動車用介護用品販売／総合アウトドアショップ「myX(マイクス)」の経営、等

沿革：

1939年

神奈川トヨタ販売株式会社(現：神奈川トヨタ自動車株式会社)設立

1967年

IBM360を導入、バッチ処理による事務合理化を図る

～中略～

1988年

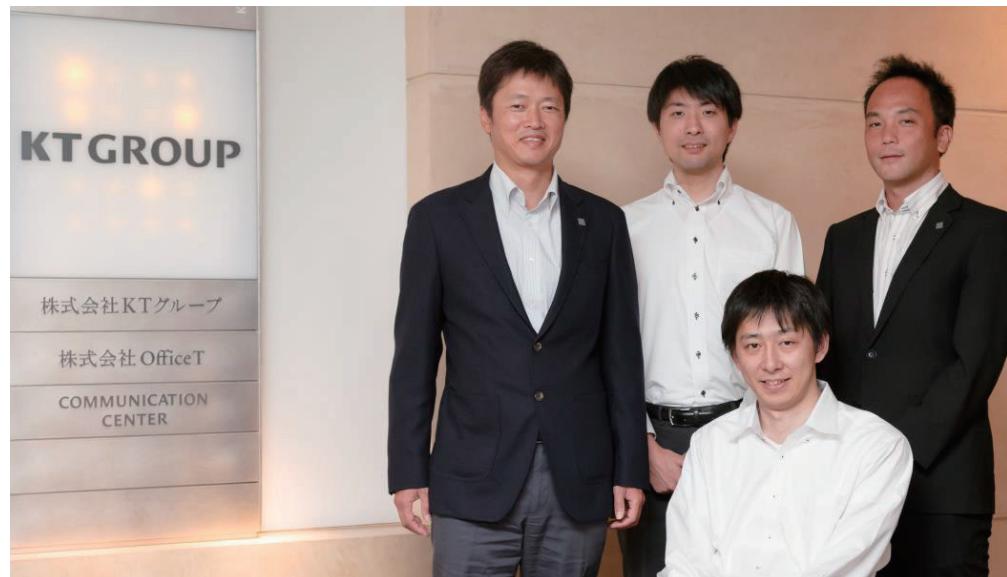
情報システム開発部門を分離独立
シンポー情報システム株式会社設立

2007年

株式会社KTグループ設立(持株会社)

構築システム：情報共有システム

SkyVisualEditorを開発基盤とし、 開發生産性3倍のスピード開発を実現



左から 神奈川トヨタ自動車 企画部情報システム室 室長 中島 智広氏、シンポー情報システム グループ支援部 金子明広氏、同グループ支援部開発技術室 津村 彰氏、同経営企画部 室長 上野 直人氏

神奈川トヨタ自動車様について

神奈川トヨタ自動車株式会社(以下、神奈川トヨタ自動車)は、創立以来70年にわたり、自らの本分を「“クルマ屋”ではなく“くるま生活屋(=モビリティライフ創造企業)”」と位置づけて、様々なイノベーションを巻き起こしてきました。「くるま生活における豊かさの創造に最高の貢献をする」を経営目的に、多くのお客様の暮らしを支えていきます。

— Salesforceを導入した経緯を教えてください。

東日本大震災後、自動車の製造が止まり、ガソリンが値上がりしました。この影響でハイブリッド車が大変な人気となり、納車が半年待ちという事態になりました。納車待ちのお客様をフォローするためのシステムがなかったので、一刻も早く稼働できるシステムを！探し、見つけたのが Salesforce でした。情報自体は基幹システムにあったので、インターフェイスの開発を行い、たった3週間でこのシステムをリリースすることができました。

このように、非常時に必要なシステムをすぐに開発できるプラットフォームとして Salesforce の利用を開始しましたが、次にこれを社内の「集合知」を活かすシステムとして、全社展開することを検討しました。神奈川トヨタ自動車では、約700名の営業担当、約300名の整備担当、本社スタッフ約400名が県内に分散しており、物理的に離れているため、他のメンバーが持っているナレッジの活用や情報伝達が上手く行きませんでした。そこで、Salesforce (コンテンツ) を活用し情報共有の基盤を刷新することにしました。

また、新商品の社員教育などには集合研修を行ったりDVDで教材を作成したりしていましたが、この教育のための情報も、併せて合理化を検討し、コンテンツを利用することにしました。コンテンツに製品資料をアップすることで、教育だけでなくセールスプロモーションツールとしても活用できるようになりました。

使用サービス

Salesforce
SkyVisualEditor

CASE STUDY

神奈川トヨタ自動車株式会社 様 サービス導入事例

—なぜ SkyVisualEditor を採用されましたか？

コンテンツの運用を開始したところ、情報量が多いこともあって「ドリルダウン検索がしたい、キーワード検索とドリルダウン検索の併用をしたい」など検索の要望や、「コンテンツパックのレビューがしたい、ダウンロード時のファイル名が変わらないようにしてほしい」など、Salesforce標準のコンテンツ機能では実現できない多くの要望が寄せられました。これに対応するため、個別開発も検討しましたが、工数が相当かかってしまうことから、他に手段がないか探した結果、SkyVisualEditorにたどり着きました。

SkyVisualEditorは、作成した画面に足りない機能だけを追加開発できるファンクションを持っています。このように開発基盤として標準機能がない機能だけを作り足せるというのも、自由度が高く開発生産性を高めるポイントです。このSkyVisualEditorで開発した画面に切り替えることで、それまで必要な情報にたどり着くまでに感じていたストレスの8割は解消できました。



ユーザーの
要望に応えた
画面の開発により、
システムに感じる
ストレスの8割を
解消できました。

神奈川トヨタ自動車株式会社
企画部 情報システム室 室長

中島 智広 氏

【図1】複数のキーワードやカテゴリ選択により、自由度の高い検索を実現した検索画面

SkyVisualEditorを
利用することで、
開発生産性が
3倍になりました！



シンポー情報システム株式会社
経営企画部 室長

上野直人氏

— SkyVisualEditorで作った画面を見せてください

まずコンテンツの「キーワード検索」と「カテゴリのドリルダウン検索」を同時にできる画面を作成しました(図1)。複数のキーワードと、よく検索されるカテゴリなどの複合条件で自由に検索できるようになっています。これで情報へのたどり着きやすさが格段に向上しています。

また、未読、既読管理のできる一覧画面(図2)も作成しました。これにより、見落としを防ぐことができるようになりました。

上記以外でも、10画面以上を既に作成しています。このように SkyVisualEditor を利用することで、簡単に思い通りのシステムを作ることができるというのは、これまで自社でのシステム開発が couldn't かったような小さな企業や組織でも、自由度の高いシステムを手に入れることができるようになる画期的なパラダイムシフトです。与えられたものを使うだけでなく、自分たちが作る、といった文化に変えていくことができます。

【図2】情報発信のポータルとなる画面発信者によるフィルタリング機能や、未読・既読管理機能を追加

Debby システム管理者 ヘルプ &トレーニング Debby

Journal of Health Politics, Policy and Law